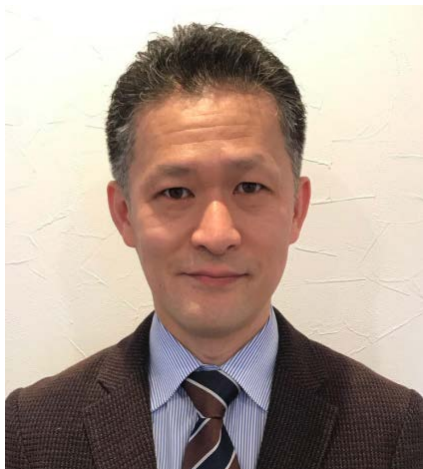


## 将来計画委員会委員長



私は 1997 年に大学を卒業し、2000 年に神経化学会で学会デビューを果たしてから約 20 年間、神経化学会をメイン学会として活動してきました。故植村慶一先生が始められた神経化学テニス大会に「釣られて」、神経化学会に入会したのは事実ですが、このテニス大会を通じて実に多くの先輩方に可愛がってもらいました。となりますと、このテニス大会は、将来の人材育成に役立つと言えそうです。植村先生が人材育成を考えてテニス大会を始められたのか分かりかねます。何が人材育成に役立つのかを予想するのは難しいですが、何が起こったのかを歴史として理解することはできます。それはテニス大会、若手育成セミナー、若手道場の波及効果として理解できます。このような当学会の歴史をふりかえりながら、そして人材育成を含めたこの学会の将来を考えるのがこの委員会の役割です。私のように本学会で育ったと思われるメンバーを委員に迎え、2 年間の活動をしていきます。この活動が夢物語で終わるかも知れませんが、何か実行力のあるアイデアが生まれてくるかも知れません。神経化学会に参加すると「おいしい」、「おもしろい」と思わせるようなシステムの提案をしたいと思います。

慶應義塾大学医学部 精神神経科学教室 准教授 田中謙二